

令和 5 年 6 月 14 日現在

機関番号：37131

研究種目：研究活動スタート支援

研究期間：2019～2022

課題番号：19K24216

研究課題名（和文）看護継続教育担当者のコンピテンシーを高めるためのWeb学習プログラムの開発

研究課題名（英文）Development of a Web-based learning program to enhance the competencies of continuing nursing educators

研究代表者

大村 由紀美（Omura, Yukimi）

令和健康科学大学・看護学部・講師

研究者番号：30382443

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 2,200,000円

研究成果の概要（和文）：本研究では、新任の看護継続教育担当者のコンピテンシーを高めるために、看護継続教育担当者に必要な基本的知識の習得に加え、自己の経験のリフレクションを支援するWeb学習プログラムを作成した。全国調査により、新任の看護継続教育者の学習ニーズとコンピテンシーを明らかにし、コンピテンシー評価尺度を作成した。プログラムは、学習ニーズや文献、求められるコンピテンシーをもとに、Web学習で習得可能な教育学的知識やコミュニケーションスキルを中心に検討した。最終的に専門家と内容妥当性を検討し6つのコンテンツから構成されるプログラムとした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

医療機関に従事する看護継続教育担当者のコンピテンシーはこれまで明確になっておらず、コンピテンシーを評価する尺度やコンピテンシーを基盤とした学習プログラムの開発はされていない。本研究で、新任の看護継続教育担当者のコンピテンシーを評価する尺度を開発し、新任者に焦点を当てたWeb学習プログラムを作成したことで、全国の新任看護継続教育担当者にとって、場所を問わず自己学習できる機会が提供できる。看護継続教育担当者の教育を充実させることで、看護職員全体の教育に還元され、ひいては看護の質向上につながることを期待される。

研究成果の概要（英文）：In order to improve the competency of advanced beginner continuing nursing educators, in addition to acquiring the basic knowledge necessary for continuing nursing educators, we created a web based learning program that supports reflection on their own experiences. A national survey clarified the learning needs and competencies of advanced beginner nursing educators and developed a competency evaluation scale. Based on learning needs, literature, and required competencies, the program focused on pedagogical knowledge and communication skills that can be acquired through web based learning. Ultimately, we examined the validity of the contents with experts and developed a program consisting of six contents.

研究分野：看護教育

キーワード：コンピテンシー リフレクション 看護継続教育者 web学習

1. 研究開始当初の背景

2010年4月より新人看護職員の臨床研修が努力義務化され、各医療機関で看護職の卒後教育を担当する継続教育者の配置が進んでいる。継続教育者は、看護職員の教育プログラムの立案から評価、集合研修の講師等、個人や集団を対象とした教育を担う。しかし、「教育者」としての位置付けはなく、専門的で系統的な教育システムは整っておらず、教育学的な知識を体系的に学ぶ機会が少ない。効果的な看護継続教育プログラムは、教育計画立案者の受けた教育がそのまま顕著に現れてしまう(山西, 2007)ため、専門的教育が必要であった。

医療機関に従事する継続教育者の研究では、国内では「教育者」としての概念を明らかにした研究(森山, 2010)、小集団を対象とした教育プログラム開発の研究(平木, 2011)があるが、コンピテンシーを基盤とした能力開発の研究はなく、能力開発の有効な方法は示されていない。

米国では、以前から、継続教育者の養成プログラムや資格認定制度があり、資格をもった担当者が看護職員の継続教育を担うことも多く、公的に、能力開発の基準が示されている。また、多くの研究からコンピテンシーのアセスメントツールや教育プログラムが開発され、教育コースやWeb学習、教育実践のSelf-reflection(自己内省)を通して能力開発していることが示されていた(collazo, 2016)。しかし、国内では、特に教育が必要な新任の継続教育者のコンピテンシーや学習ニーズは明らかにできておらず、コンピテンシーを高めるための有効な学習プログラム開発には至っていない現状であった。

2. 研究の目的

本研究の目的は以下の3点である。

- 1) 新任の看護継続教育担当者のコンピテンシーを明らかにし評価尺度を開発する。
- 2) 新任の看護継続教育担当者の学習ニーズを明らかにする。
- 3) 新任の看護継続教育担当者のコンピテンシーを高めるためのSelf-reflection(自己内省)の仕組みを取り入れたWeb学習プログラムの作成を行う。

3. 研究の方法

- 1) 研究1: コンピテンシー評価尺度の開発について

対象者: 全国400床以上の215病院の看護継続教育者501名。調査方法: 無記名自記式質問紙調査。調査から約1か月後に2回目調査。

調査内容: 尺度原案(60項目)について、①求められる程度、②実施の程度(5件法)、「教育ニードアセスメントツール教育担当者用」を収束的妥当性の評価に用いた。回収率は1回目: 351名(回収率70.1%)、2回目: 214名(回収率42.7%)。

分析: ①のデータで内容妥当性の検討、②のデータで、項目分析、探索的因子分析(主因子法、バリマックス回転)、確証的因子分析、クロンバック α の算出、有意水準5%未満。

- 2) 研究2: 学習ニーズの明確化について

全国400床以上の218病院に所属する647名の看護継続教育担当者へ無記名自記式質問紙を配布し、看護継続教育担当者の学習ニーズについて調査した。内容分析を行い、1名の看護継続教育担当経験をもつ質的研究者と2名の看護継続教育担当者でカテゴリー分けを行った。

- 3) 研究3: 学習プログラムの作成について

研究1と研究2の結果と、看護継続教育者の教育プログラムが掲載されている文献の内容を参考に、Web学習で習得が可能な内容の検討を行った。動画教材を作成し、専門家(看護継続教育担当者の経験がある大学教員、Web学習教材の作成経験がある大学教員)と内容の妥当性を検討した。

4. 研究成果

- 1) 研究1: 分析対象者は301名(48.1 \pm 6.1歳)、継続教育の平均経験年数は4.7 \pm 4.2年であった。内容妥当性の分析、項目分析を行い、54項目で探索的因子分析を行った。その結果、<教育者に適した資質の保持><周囲と強調して活動するスキル><学習者に合わせた教育の実践><教育活動の計画と評価><研究成果の創出と活用><生涯学習の支援>の6因子構造、35項目となった。確証的因子分析では、GFI=0.827、AGFI=0.798、CFI=0.905、RMSEA=0.059であった。

収束的妥当性では、2つの尺度の相関係数は0.59であった。クロンバック α は全体0.95、2回の尺度総得点の級内相関係数は $r=0.82$ ($p<0.001$)であった。尺度の構成概念妥当性、収束的妥当性、信頼性が確認でき、新任者のコンピテンシーを測定することが可能と判断した。

- 2) 研究2: 学習ニーズとして、意味のまとまりごとに分類し、分けられた文節について、1名の看護継続教育担当経験をもつ質的研究者と2名の看護継続教育担当者にてカテゴリー分けを行った結果、31のカテゴリーに分けられた。このうち、看護継続教育担当者の経験が2年未満の36名のデータに絞り、回答数が多かったカテゴリーは、【教育プログラムの企

画・運営・評価方法に関する知識】、【教育原理や学習理論、成人教育などの教育の基礎理論】、【講義や演習に関する教育技法方法・教授法の知識やスキル】【学習ニーズ理解や対象理解に必要な知識】【コーチングの知識やスキル】であった。

これらの結果から、教育プログラムに関する知識や教育の基礎理論、教育技法や教授法の知識とスキル、コミュニケーションスキルが学習プログラムに必要と考えた。

- 3) 研究1、研究2の結果を踏まえて、教育的知識を学ぶコンテンツとして「継続教育担当の学習準備」「コンピテンシー学習におけるリフレクション」「継続教育に必要な学習理論」「教育技法」「研究プログラムの計画から評価」「教育活動におけるコミュニケーションスキル」の6つのコンテンツの原案を作成し、専門家の意見をもとに修正した。学習システムは Moodle を使用し、日々の教育活動のリフレクションを Web 上で記入できるよう検討した。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計0件

〔学会発表〕 計2件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 0件）

1. 発表者名 大村由紀美, 松本智晴, 前田ひとみ
2. 発表標題 新任看護継続教育者のためのコンピテンシー評価尺度の信頼性・妥当性の検討
3. 学会等名 第41回日本看護科学学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大村由紀美
2. 発表標題 新任継続教育担当者のコンピテンシーの獲得が難しい内容の特徴
3. 学会等名 第31回日本医学看護学教育学会学術集会
4. 発表年 2021年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------